

第一回いわむら路地カラゼミ

足助のまちづくりに学ぶ

同じ重伝建で規模もレベルも大きく異なる豊田市足助町。

香嵐渓や足助屋敷で年間80万人の観光客を集客する一方で、人口減少や空き家空き店舗の増加、事業継承難、担い手不足、移住者定住、関係人口対策など共通の悩みは尽きない。

それでもどっこいいつも新しい風を起こすのが足助町。

「まちやどスクール」「はじまりアパートメント」「あきびと座」

「株式会社足助巴一座」など、何やら怪しいグループや

仕組みを打ち出している。その仕掛人の一人、

杉本憲彦氏を招いて、足助の自慢と葛藤を聴き、

今の岩村を重ねてアフターコロナの

岩村を妄想しませんか。

参加
無料

開催日 2022年 6/23 木

時間 19:00～21:00 (受付18:30～)

会場 cafe HYAKKEI (旧 立花屋:本町5丁目)

\ 店内では7月末まで!! /

「足助街並み絵屏風展」(柄沢照文氏)開催中です

※別途ワンコインドリンクあります

ゼミ

- | | | |
|---|----------------|-----|
| 1 | 路地研&路地カラ地図進捗報告 | 10分 |
| 2 | 講演 足助のまちづくりに学ぶ | 50分 |
| 3 | 意見交換 | 60分 |

講師紹介

一般社団法人足助まちマネジメント
理事

杉本 憲彦氏

路地カラ研究会とは…

「路地」とは表通りに面していない小径・細道を指します。

路地あるいは路地裏には人々の飾らない暮らしが息づいています。岩村城下町の魅力は表通りの建造群だけでなく、むしろ路地を囲む住民たちの日々の営みにあります。

岩村を訪れる人たちは表通りの立派さと同時に迷路のように入り組んだ路地に驚き、そこに懐かしい昭和や遠い明治や江戸を感じます。そんな岩村の魅力を伝え、ゆっくり歩いてみたくなる、いつか住んでみたくなる絵地図を製作中です、ご支援ご協力をお願いします。

代表 金子 裕貴

主催

岩村城下町 路地カラ研究会
(略称:路地研)

連絡・問い合わせ

金子裕貴 [080-4222-8665]
丹羽健司 [090-9916-1546]